

テモテ
第二

③

「御言葉を信頼して
変えられていこう」

テモテへの手紙第二 3章

信仰の戦いの礎

アウトライン

0. イントロダクション

I. 終わりの時代の背教者たち 1～9節

II. 信仰者の戦いの礎 10～21節

III. まとめと適用

ただ御言葉に信頼して

育まれていこう

テモテへの手紙第二とは？

■ 著者 …使徒パウロ

■ 宛先 …エペソ教会を指導中のテモテ

■ 執筆時期・場所 …不明

使徒の働きの文脈に位置づけるなら…

→パウロが、ローマに移送された後？！

■ 目的 …牧会書簡(テモテ、テトス)
牧会上の実践的な助言。励まし。
パウロの別離の手紙。





I. 終わりの時代の背教者たち テモテ第二 3章1～9節

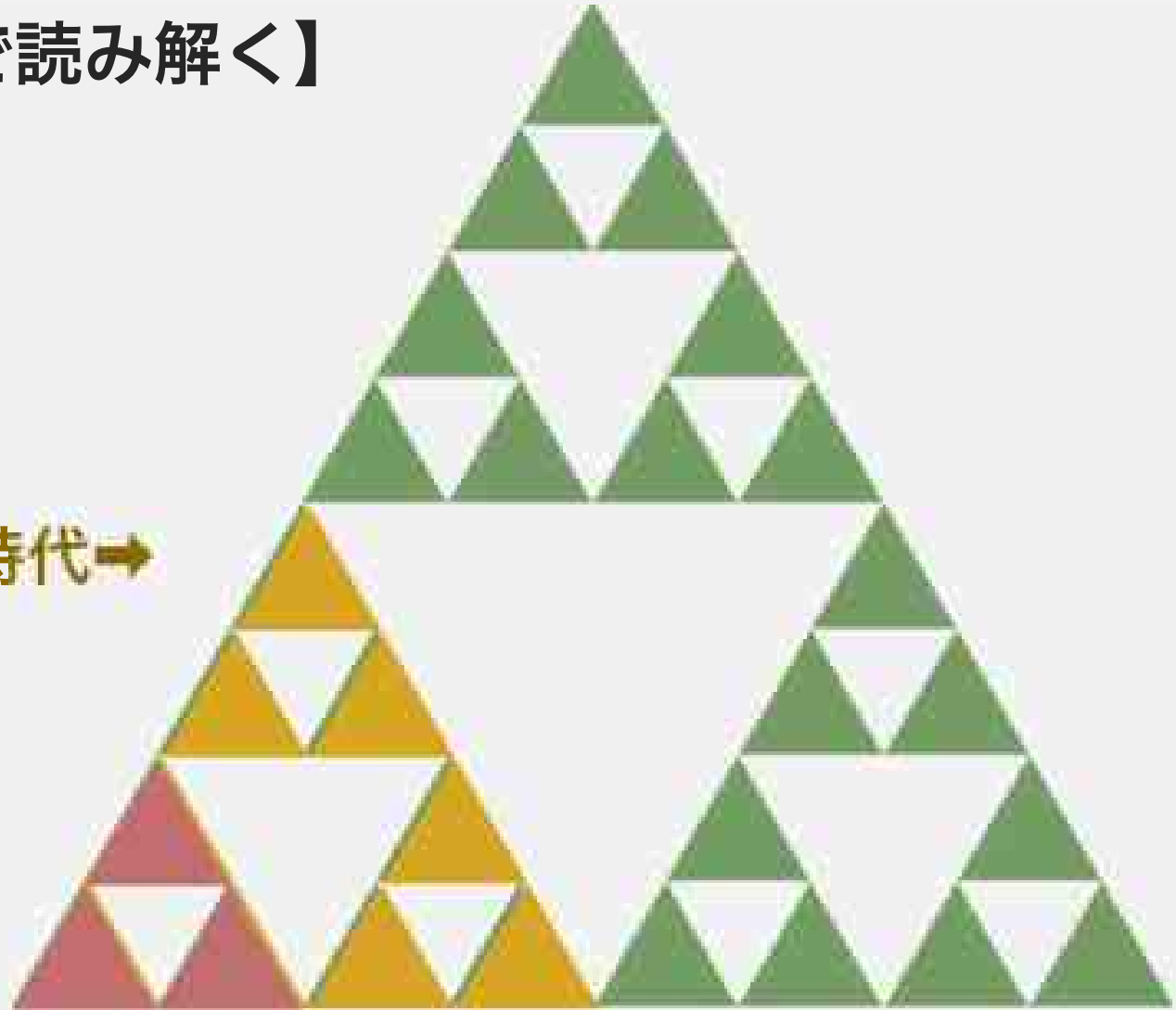
終わりの時代の三つの定義

【フラクタル(相似)構造で読み解く】

① 広義：教会時代→
聖霊降臨後～

② 中義：産みの苦しみの時代→
世界大戦後～

③ 狭義：大患難時代→
最後の7年間



警告 背教の時代 テモテ II 3:1~2

終わりの日*には困難な時代が来ることを、承知していなさい。

そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒瀆し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた*者になります。

*今は、大患難が近づく、産みの苦しみの時代

*“神聖を汚す(口語)、神を畏れない(新共)”

■背教者の特徴・20の悪のリスト

その最初は、“利己的な自分中心の自己愛”

→自分の欲望、感情、思考の絶対化



自分が一番!!

警告 背教者の偽善 テモテ II 3:3~5

また、情け知らずで、人と和解せず、中傷し、自制できず、粗野で、善を好まない者になり、人を裏切り、向こう見ずで、思い上がり、神よりも快楽を愛する者になり、見かけは敬虔であっても、敬虔の力を否定する*者になります。こういう人たちを避けなさい。

*リストの最後、背教者の特徴の極みが偽善!!

■他の弟子に信頼されていた裏切り者ユダ。

信仰者を驚異的に偽装する者は確かにいる。

➔悔い改めも神への恐れも皆無



警告 偽教師の悪影響 テモテ II 3:6~7

彼らの中には、家々に入り込み、**愚かな女**たちをたぶらかしている者たちがいます。その女たちは様々な欲望に引き回されて罪に罪を重ね、**いつも学んでいるのに、いつになっても真理を知ることができません。**

- 表面的には、良く聖書を学ぶ者だが…。
知識はあっても、適用はない。
形ばかりで、実を結ばない。
真の意味で主を知らず、
神との和解も交わりもない。



警告 信仰の失格者 テモテ II 3:8~9

たぶらかしている者たちは、ヤンネとヤンブ
レ*がモーセに逆らったように、真理に逆らっ
ており、知性*の腐った、信仰の失格者です。

しかし、彼らがこれ以上先に進むことはありません。彼らの愚かさは、あの二人の場合のよ
うに、すべての人にははっきり分かるからです。

*モーセと対決したファラオの呪術師。

→聖書に名はない。ユダヤの伝承。

*“心、思い、精神”

■十の災いで裁かれたエジプトの最悪の者たち

→偽教師は、終わりの時代の最悪の者



神のいつくしみと共に、厳しさをも直視しよう

- ユダヤ人の罪を反面教師に、異邦人にも罪の自覚の深まりを促した、パウロの忠告

「ですから見なさい、神のいつくしみと厳しさを。倒れた者の上にあるのは厳しさですが、あなたの上にあるのは神のいつくしみです。

ただし、あなたがそのいつくしみの中にとどまっていればであって、そうでなければ、あなたも切り取られます。

ローマ11:22」



Ⅱ. 信仰者の戦いの礎

テモテ第二 3章12～17節

警告 避けがたい迫害 テモテ3:12~13

キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな*、迫害を受けます*。

悪い者たちや詐欺師たちは、だましたり、だまされたりして、ますます悪に落ちて行きます。

*“パンテス” …すべて、ALL、例外なく。

*未来形受動態 …“迫害されます”

- ➔すべての信者が迫害 = 「大患難時代」
- ➔最大の迫害は、背教者・偽教師からその極みが、反キリスト



勧め 迫害の中で テモテ II 3:10

しかしあなたは、私の教え、生き方、計画、信仰、寛容、愛、忍耐に、また、アンティオキア、イコニオン、リステラで私に降りかかった迫害や苦難に、よくついて来てくれました。私はそのような迫害に耐えました。そして、主はそのすべてから私を救い出してくださいました。

*リステラ…パウロは石打ち。九死に一生。

■使徒の働きでは、石打ちは14章。

16章で登場するテモテは、

→迫害のただ中で召命を受けた!!



勧め 確信に立って テモテ II 3:14~15

けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分がだれから学んだか*を知っており、また、自分が幼いころから聖書に親しんできた*ことも知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えて*、キリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。

*使徒パウロに学び

*祖母、母を通して聖書に親しんだ。

*聖書がテモテを福音・救いへ導いた!!



宣言 聖書の真実 テモテ II 3:16~17

聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。

神の人がすべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。

*“人を教え、戒め、正しくし、義に導く(口語)”

■ 信仰の成長の段階

- ➊ 聖書を学ぶ → ➋ 罪の自覚を促される
- ➌ 悔い改めて立ち返る
- ➍ 主の目に正しい者と変えられていく

ここでとどまる人は
少なくない!!





Ⅳ. まとめと適用 ただ御言葉に信頼して 育まれていこう

背教者のリストに学ぶ 悪の本質

■背教者の悪のリスト II テモ3:2~5

そのときに人々は、自分だけを愛し、“金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒瀆し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。

また、情け知らずで、人と和解せず、中傷し、自制できず、粗野で、善を好まない者になり、人を裏切り、向こう見ずで、思い上がり、神よりも快楽を愛する者になり”、見かけは敬虔であっても、敬虔の力を否定する者になります。

■あらゆる“悪の実”を挟み込んでいるのは、“自己中心”と“偽善”

➡地域教会の中に、指導者にも信者にも確かに存在する。

主イエスの忠告

「**偽預言者**たちに用心しなさい。彼らは羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、内側は貪欲な狼です。
あなたがたは彼らを**実**によって見分けることになります。
マタイ福音書7:15～16」

- 地域教会における最大の霊的戦いの敵が、**偽善者**。
- 弟子たちが誰もユダを疑わなかったように、見分けは困難。
表面では見分けられない。**実**を見ることで初めて可能に。
→徹底して御言葉に立ち、深く交わっていく中で。

偽教師の末路

■ 偽教師の本質 II テモ3:8~9

「たぶらかしている者たちは、ヤンネとヤンブレがモーセに逆らったように、真理に逆らっており、知性の腐った、信仰の失格者です。

しかし、彼らがこれ以上先に進むことはありません。彼らの愚かさは、あの二人の場合のように、すべての人にははっきり分かるからです。」

■ 偽教師は、最悪の偶像礼拝の地・エジプトの呪術師のように、神の真理に逆らい、心も精神も腐りきった最悪の者。

➡ 待ち受けているのは、誰の目にも明らかな、厳しい神の裁き。

主イエスの宣告・偽善者の末路

「わたしを信じるこの小さい者たち*の一人をつまづかせる者は、大きな石臼を首にかけて、海の深みに沈められるほうがよいのです。マタイ18:6」

*地上では迫害される真のキリストの弟子

■ 信仰者を装い、キリストの弟子をだまし、主をあざむく、神をも恐れぬ偽善者には、
➡ 想像を絶する裁きが待ち受けている!!



テモテに学ぶ 「キリストの弟子であること」

■ キリストの忠実な弟子の姿 Ⅱ テモテ3:10~11

「しかしあなたは、私の教え、生き方、計画、信仰、寛容、愛、忍耐に、また、アンティオキア、イコニオン、リステラで私に降りかかった迫害や苦難に、よくついて来てくれました。」

■ キリストに従い、苦難の時も使徒パウロについていったテモテ。迫害の中で召命を受け、この道を外れることがなかった。

■ キリストの弟子は、主イエスと使徒たちの教えに従い、生き方に倣い、神の計画に信頼し、寛容をもって兄弟姉妹を導き、主を愛し、隣人を愛し、忍耐をもって互いに育みあい、主に希望を置き続ける。

キリストの弟子を育むのは、主の御言葉

「聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。

神の人がすべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。 II テモ3:16~17」

■ 聖書をすべて神の御言葉と信じ、従って行くなら、聖書が、私を教え、戒め、正し、訓練し、成長させる。

■ 主の働き人として遣わされ、さらに用いられて行く。

偽善者がはびこる罪と悪の領域を正しく認識しよう

- 御言葉の真理に立ち続ける中で初めて見えてくる、深い闇がある。様々な悪の実を結ぶ本質が、自己中心と偽善。
- 恐ろしいほどに確信をつく悪のリスト(Ⅱテモテ3:2～5)は、パウロが、どれほど激しい霊的戦いをくぐり抜けてきたかを、まざまざと示す。
- 偽善者には、週に一度集うだけの教会ほど居心地よいところはない。言葉だけの関係なら、たやすく人をだまし、注目と称賛を得られる。

偽善者を見抜き、対抗できる信者の条件

■ 羊の皮をかぶった狼・偽善者が地域教会に忍び込むなら？

- ① **根のない信者**は、簡単に呑み込まれ、時に熱心な支援者となる。
- ② **茨に覆われた信者**は、判断できず、流される。
- ③ **御言葉に忠実に従い、実を結んでいる信者**だけが、
偽善者の悪の実を見分け、信仰をもって対抗することができる。
→ 信仰が成長するほど、厳しい罪の現実と直面させられる。

★ 聖書の御言葉に すべての信頼を置こう ★

- 常に問われるのは、ごまかしようのない、私たちの信仰の本質だ。
- 表面的な繕いの通用しない、裸で向き合う**関係性**を持つ者は幸いだ。罪を突きつけられ、打ち砕かれる経験が、成長の大きな機会となる。
- 聖書を、すべて、権威ある生きた神の言葉として信頼しよう。
- ひたすらに、聖書から真実を追い求めていくなら、神の生きた御言葉が、私を教え、戒め、正し、キリストの弟子にふさわしく、訓練し、成長させてくださるから。

キリストの弟子を訓練し、育む、主の御言葉に信頼しよう

「神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いや はかりごとを見分けることができます。

ヘブル人への手紙4章12節」

- 神の愛だけで亡く、厳しさをも、そのままに伝え、受けとらなければ、御言葉に忠実とは言い難い。
- 御言葉に心を切り分けられ、打ち砕かれつつ歩んでいこう。砕かれるほどに染み渡っていく、はるかな神の恵みがある。

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪を、ゆるしてください。

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

② 墓に葬られ、

③ 三日目に復活したこと、を信じます。

いつわ おし きょうかい しゅ けいこく
偽りの教えが教会に入り込む、と、主イエスは警告されました。

みことば せいれい たす みわ ちえ あた
御言葉と聖霊の助けによって、見分ける知恵を与えてください。

しゅ でし よ はくがい
主の弟子には、世にあっては迫害があります。

みことば しんらい みことば わたし はぐく
ただ御言葉を信頼します。御言葉によって私を育ててください。

みたま たす ちじょう たたか たたか ぬ
御霊の助けによって、地上の戦いを戦い抜くことができますように。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」